

常磐炭發送高

依然夏枯れ状態
常磐各炭礦における去る八月中山元發送額は依然夏枯れの状態で送炭高は一萬三千三百三十四車、十四萬四千三十八トンで前年同期に比し五百二十八車、二萬四千七百九十九トン、一日當り十七車、七百八十トンを減少してゐる、尙さる八月二十一日以降十日間の送炭は左の如くである。

▲營業用一、九三九車三、三九四〇トン、鐵道省用一、〇八八車、一四、六〇一噸、合計四、〇二五車、四七、五四一トン、(前年同期より九二七車一七、三四〇トン減)

酌婦から

一圓横領

石城郡内郷村大字綴字秋山居住
埼玉縣比企郡八和田村生れ宮島定芳(二四)は八月三十日夜平町南町飲食店露屋事西牧英八方に素見に至り乘てから馴染みである抱酌婦山村ヨシが金を借りて来てくれと錦紗の羽織一枚を渡されたのを奇貨とし多田井質店に一圓で入質し横領費消したので平署に檢舉された。

映畫見たらに

白米泥棒

石城郡大野村大字玉山鯨岡元治(二一)は七日四倉署に檢舉されたが、同人は昨年三月二十日午後十時頃同村山田小港木村信重方の水車小屋に忍び込み白米一俵價七圓を盗んだのを手初めに十三回に亘つて同様白米を盗み同村今泉某に安く賣つてゐたことが發覺したもので動機は活

動を見たさから。

映畫界

西部戦線異状なし
(平館上映)

硬概
歐洲大戰西部戦線の闘ひ耐はなる頃獨逸の或る町の學校の窓下を戰場へ向ふ大部隊が通過してゐる。
その教室では老先生カントレンクが生徒達に愛國主義を吹き込んでゐる。大進軍の舞音とカントレンクの演説に生徒達の若い英雄主義は燃えて直ちに軍隊へ志願を申出する。ポール、アルバート、ケムネリツ、ヒュンラー、ベーム、ビーター達がその内に数えられる入隊した第一夜、曾て町の郵便配達であつたヒュンラーは嚴格な曹長として彼等の

三陽製菓株式会社
久之濱 新妻治郎
平町販賣店
山野邊藥局

前に立つた。そうして苛酷な訓練がヒュンラーに依つて行はれ、速成の彼等は戰場へ送り出される。
戦線後部の輸送所、それは混亂のものである。ポール達はそこに於て最初の弾片を見る。而して何れも戰場に於て或ひは負傷し、或ひは死亡する等戦時特有の悲劇が演ぜられる。その時故郷では老人達が戦術論にビールの泡を飛ばし、教室では相變らずカントレンクが少年達に愛國論を吹込んでゐる。
病める老母と別れて再び戰場へ来たポールは十六歳の少年兵と老兵チャーデンの分隊に入る。カンチスキーを訪ねたそれは彼を失ふときであつた。それはポール自身が驚れる時であつた。

西線無戰事

名著の映畫化
名余千八場登他・氏ズーヤエ・スイユリ・氏ムイハルオウ・ズイル・氏イレ・ンヨジ
秋の此?かるるてつとを度能るな何如に件事〇〇は國某今!!て見を畫映の此!!民國我よめ醒
戰大州歐ばれみ願 !!いまるなばね思を時の〇〇き可る來と念信るた固確に民國我りたあに
。だのたつあがり語物きなり極壯勇斯如はに戰激の佛獨部西
てし投をと用費と利權な大莫 は館當るす躍飛へ捕を的端尖の味興衆大 と新更の分氣に常
を判公の判裁實事の此てし聘招を黨一夫正村木.....雄の壇劇都帝

奥・白痴の第殺

事件人殺族血の工女範模る知に導報の聞新?罪無?罪有

公園の緑風を窓に受けて
秘める心のメロデーに
麗人達が御捕で
来ませ来ませ
皆様を待つ
(女給さん募集)
鳥の樂チクノール
平五 山野邊藥局
二葉印刷所
平町仲町・電話一九三番

帽トフソ
ダンチンハ
は意用御の秋の様皆
帽子!!
折中一ワフ秀優産國
錢十八圓三(製毛兔)
錢八十四折中價特
ヤルツ
〇四一電 四平

新趣に輝き
實價と誇る...大塚の運動具
各種運動具...値下げ斷行
御用は大塚運動具部
平・田町 電話七七番

貸切御用命ハ
ゼヒ 三井自動車部へ
電話六八五番
乗合は 好間合戸澤渡方面行

運動具と服裝!!!
榮冠輝く品質と
價格のファイインプレー!!
平澤前 マルカ運動具部
電話三十二番

耳鼻咽喉科專
氣管食道科門
病室完備...自炊の便あり
平町南町 大和田醫院
電話一七〇番